



カラスの生態と対策



毎年5月から7月までの期間はカラスの繁殖期にあたり、特に6月はヒナが巣立つ時期です。その時期に巣の近くや巣から落ちたヒナのそばを人が通ると、ヒナを守ろうとする習性から人を威嚇したり、攻撃してくることがあるため、注意が必要です！

カラスの種類

私たちがよく見かけるカラスには「ハシボソカラス」と「ハシブトガラス」の2種類がいます。見た目はよく似ていますが、鳴き声や生息場所などに微妙な違いがあります。

種類	ハシボソガラス	ハシブトガラス
見た目		
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・くちばしが細く直線的 ・ハシブトガラスより体系がスマート ・両足を交互に出して歩く 	<ul style="list-style-type: none"> ・くちばしが太くわん曲 ・飛び跳ねながら歩く
鳴き声	「ガー、ガー」と濁った声	「カー、カー」と澄んだ声
性格	ハシブトガラスよりおとなしい性格でめったに人を襲わない。	神経質な性格で記憶力が優れており、嫌なことをされると何年も記憶している。
生息場所	農耕地など郊外を好む	市街地や林を好む

カラスの子育てと生活

【子育て（繁殖期）】

営巣場所を中心に、オス・メスが協力して子育てをします（ヒナを育てる巣と「ねぐら」は別です）。卵は産まれてから20日前後でヒナにかえり、その後1ヶ月ほどで巣立ちます。産卵数は3～5個で、巣作りから巣立ちまでに約2ヶ月かかります。

【生活（繁殖期以外）】

カラスの寿命は10～20年で、秋と冬に集団でねぐらを作ります。1日のサイクルは、早朝に飛び立って日中はエサ探しをし、暗くなるとねぐらへ帰ります。

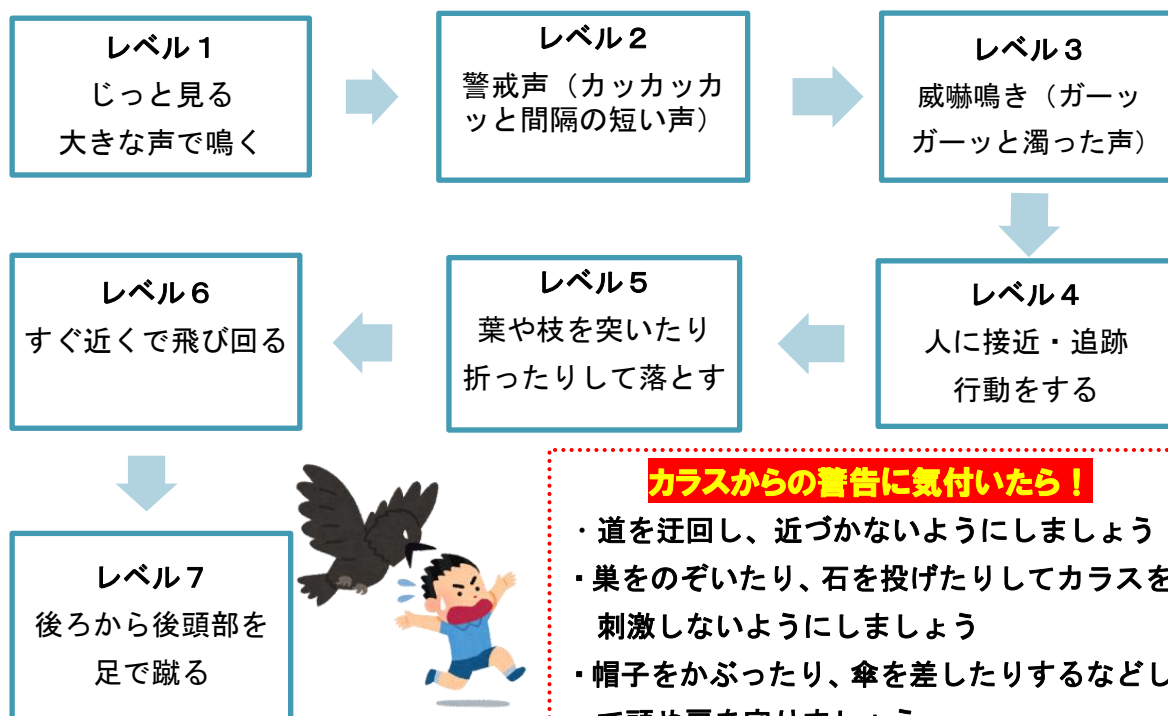
※作られた巣は繁殖期だけ利用し、その他の時期に巣の周辺にいることはありません。

カラスの威嚇から身を守るためには

カラスからの警告を察知する！

カラスが人を威嚇するのは、巣にいる卵やヒナを守るため、特に巣立ったばかりのヒナを守るための行動です。カラスはいきなり人を襲うわけではなく、事前に様々な方法で「警告」を出しています。

【カラスが攻撃するまでのプロセス】



カラスからの警告に気付いたら！

- ・道を迂回し、近づかないようにしましょう
- ・巣をのぞいたり、石を投げたりしてカラスを刺激しないようにしましょう
- ・帽子をかぶったり、傘を差したりするなどして頭や肩を守りましょう
- ・片腕を真上にあげて動かさずにゆっくり通過しましょう

巣を作られないようにする！

「ハシボソ」は見通しの良い木、「ハシブト」は枝葉が重なり合った見通しの悪い木に巣を作ります。巣を作られないように繁殖期以外の時期に枝を剪定したり、樹木に市販のカラス忌避剤を付けるなどして防ぎましょう。

もし巣を作られてしまった場合、巣を撤去することも威嚇から身を守る方法の1つですが、できたばかりの巣をすぐに撤去しても再度作られる可能性があります。また時期によっては撤去することでカラスを刺激し、威嚇行動が強くなる場合もあるため、ヒナの成長状況に合わせて撤去の判断をすることが必要です。



巣の中に卵やヒナがいる場合の巣の撤去は、「鳥獣保護法」により自宅や会社の敷地内であっても無許可で実施することは違法です。巣などの撤去が必要な場合は、市民部環境生活課環境・生活安全係までご連絡ください。また巣の撤去に伴うヒナ、卵の捕獲許可に関することは経済部耕地林務課林務係までお問い合わせください。

名寄市市民部環境生活課環境・生活安全係
(名寄市役所名寄庁舎1階3番窓口)
電話 01654-3-2111 (内線: 3122)